

【授業の到達目標および概要】

特定保健指導についての理論と実際を学び、保健指導の実践者として、また企画者、評価者として必要とされる能力の習得を目的とする。制度の理解、メタボリックシンドローム等生活習慣病の病態の理解と応用、行動変容をもたらす保健指導能力の向上を第一の課題とする。さらに、事例演習を通して、対象者特性にあわせた保健事業の企画、評価等について学習し、保健事業マネジメント能力の醸成をめざす。なお、本講座は、厚生労働省「健診・保健指導の研修ガイドライン(改訂版)」実践者育成研修プログラムに準拠し、必要な単位を修得できるものである。第一期の成果、課題を踏まえ、第二期の制度に対応した内容で構成する。新たに始まった「データヘルス計画」についても解説する。

【授業計画】

- ① わが国の健康政策と特定保健指導、保健指導の特徴(身体活動・運動、食生活、たばこ、アルコール)(保健指導各論)、ポピュレーションアプローチとの連動(基礎 60分)
行動変容に関する理論(武見ゆかり)(技術 30分)
- ② 健診・保健指導の理念、特定健診保健指導の基礎(階層化・しくみ)、(基礎 90分)
「情報提供」「動機づけ支援、積極的支援」の概要(保健指導概論)
- ③ メタボリックシンドロームの概念、健診結果と身体変化・生活習慣の関連(技術 90分)
- ④ たばこに関する保健指導(外部講師)(90)(技術 120分)
アルコール、歯の健康に関する保健指導(30)
- ⑤ 身体活動・運動に関する保健指導(60)(技術 180分)
- ⑥ 食生活に関する保健指導(本田佳子)(60)
保健指導の方法(情報提供、動機づけ支援、積極的支援)(60)
- ⑦ 演習:保健指導の展開 事例検討・個別支援(ロールプレイ)(技術 90分)
- ⑧ 演習:支援計画作成、保健指導の評価(技術 60分)
- ⑨ データヘルス計画、健診保健指導事業の評価(計画評価 90分)
- ⑩ 健診・保健事業の計画策定(保険者の立場、保健指導機関の立場)(計画評価 90分)
- ⑪ 健診保健事業の評価(保険者の立場、保健指導者の立場)(計画評価 90分)
- ⑫ 保健事業のマネジメント、アウトソーシング、まとめ(計画評価 90分)
- ⑬～⑮ まとめ

なお、3日間で全カリキュラムを終了することとし、時間配分を変更することもありえる。

【授業外学習】

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)」の第1編、第3編(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/seikatsu/dl/ho-ken-program1.pdf)を読んでおくこと。授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること。

【成績評価の方法・基準】

授業態度、事例についての支援計画・保健指導プログラム等のレポートにて評価する。

【参考書】

標準的な健診・保健指導プログラム(社会保険出版社)として購入も可能である。

【教材】

保健指導事例、保健指導教材(特定保健指導用教材)、ロールプレイシート、支援計画作成シート、レジюме等を配布する。